

協定留学近況報告書

| | |
|---------------|---|
| 記入日 | 2018年 11月 5日 |
| 留学先大学 | 南ユタ大学 |
| 留学先での所属学部等 | <input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語): _____, (現地言語での名称): _____ <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している。 <input type="checkbox"/> その他: _____ |
| 留学期間 | 2018年 8月－2019年5月 |
| 明治大学での所属 | 文学部 <u>文学科</u> 英米文学部専攻 / _____研究科____専攻 |
| 学年(出発時本学での学年) | 学部3年生 / 研究科 <input type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程 _____年生 |

I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

同じ学部の先輩にコンタクトをとって情報を集めました。明治の留学セミナーだけでなく、SAF の留学セミナーに参加しました。他にも志望動機が決まる前は興味分野の映画を見たりしました。

II-1. 留学のための渡航前手続き(留学ビザ)

| | |
|---|---------------|
| ビザの種類: J1 | 申請先: アメリカ大使館 |
| ビザ取得所要日数: 3日 (申請してから何日/週間要したか) | ビザ取得費用: 3万8千円 |
| ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか? また、どのように手配しましたか? | |
| 入学許可証、 | |
| 具体的な申し込み手順を教えてください。 | |
| 面接 | |
| ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか? | |
| ビザ取得に関して困った点・注意点 | |
| 特にありません | |

II-2. 留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)

| |
|--|
| その他済ませておくべき準備があればお書き下さい(現地での現金調達準備, 携帯電話購入, 荷物運送など) |
| 携帯はソフトバンクで、アメリカ放題を使っています。荷物は送るほど持ってかなくていいです。現地で使いやすいものが必ず安く手に入ります。 |

Ⅲ. 現地到着後のながれ

1. 到着時の様子

| | | | | | |
|-------------|--|---------------------------------|---|-------------------------------|------------------------------|
| 利用航空会社 | アジアナ航空、アラスカ航空 | | | | |
| 航空券手配方法 | Tripair ※利用した旅行社・旅行サイト、格安航空券情報等があれば記入して下さい。 | | | | |
| 大学最寄空港名 | マッカラン国際航空 | 現地到着時刻 | 12時 | | |
| キャンパスへの移動手段 | <input checked="" type="checkbox"/> 大学手配の出迎え | <input type="checkbox"/> 知人の出迎え | <input type="checkbox"/> 公共交通機関 (<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車) | <input type="checkbox"/> タクシー | <input type="checkbox"/> その他 |
| 移動の所要時間 | 32時間 | | | | |

空港からキャンパスへの移動の際の注意点、タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方、料金等

ISA(留学生支援サークル)がピックアップしてくれるので特に心配ありません

| | |
|-------|-----------|
| 大学到着日 | 8月21日23時頃 |
|-------|-----------|

2. 住居について

| | | | |
|-------------------|---|--|---------------------------------|
| 到着後すぐに住居入居できましたか？ | <input checked="" type="checkbox"/> はい | いいえを選んだ方： 月 日から入居可能だった。 | <input type="checkbox"/> いいえ |
| 住居のタイプ | <input checked="" type="checkbox"/> 寮 | <input type="checkbox"/> アパート | <input type="checkbox"/> その他() |
| 部屋の種類 | <input type="checkbox"/> 一人部屋 | <input checked="" type="checkbox"/> 二人部屋 | <input type="checkbox"/> その他() |
| ルームメイト | <input type="checkbox"/> 日本人学生 | <input checked="" type="checkbox"/> 他国からの留学生 | <input type="checkbox"/> その他() |
| 住居を探した方法 | <input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋 | <input type="checkbox"/> 自分で探した | <input type="checkbox"/> その他() |
| 住居の申込み手順 | 大学からメールがきてから手続きをしました。 | | |

住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか？トラブルはありましたか？

トラブルはありません。

3. 留学先でのオリエンテーションについて

| | | |
|--------------|--|--|
| オリエンテーションの有無 | <input checked="" type="checkbox"/> あった | <input type="checkbox"/> なかった |
| 日程 | 8. 21～8. 25 | |
| 参加必須ですか？ | <input type="checkbox"/> 必須 | <input checked="" type="checkbox"/> 任意参加 |
| 参加費用は？ | <input checked="" type="checkbox"/> 無料 | <input type="checkbox"/> 有料(金額:) |
| 内容の様子は？ | ガイダンスを通して友達が大量にできました。オリエンテーションが本当に楽しくて、留学準備にかけた努力が報われた気がしました。Bell Tower で行われるハイタッチが伝統で行われますが、最高にいい思い出になりました。https://youtu.be/dGKF8BxbL8s(ThunderU) | |
| 留学生用特別ガイダンス | <input checked="" type="checkbox"/> あった | <input type="checkbox"/> なかった |
| 授業開始日 | 8月 27日から | |

Ⅳ. その他、渡航して必要な手続きについて

1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？いつ、どこで、方法は？日数、料金は？トラブルは？

ありません

2. その他現地でした手続きは？(健康診断、予防接種等)いつ、どこで、方法、日数、料金は？トラブルは？

TB テスト

3. 現地銀行口座を開設しましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

任意です。

4. 現地で携帯電話を購入しましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

携帯が壊れかけているので、遅かれ早かれ買うことになると思います。

V. 履修科目と授業について

1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか？

出発前に(6月 日頃)

オンラインで登録 志願書類に記入して登録 できなかった その他()

到着後に(月 日頃)

オンラインで登録 国際オフィス等の仲介 できなかった その他(結局、最初の一週間で履修修正できるのと、留学生同士の情報交換でより自分にあった履修が組めます。出発前は心配で色々先生とメールでコンタクトとったりしていましたが、実際到着後の方がよりよい授業の選択ができると思います。)

登録時に留学生として優先されることは あった なかった

優先が「あった」方はどのように優先されましたか？

留学生、正規生構わず同時にレジレーションが開始されるので早めに取り組んでください

出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？また希望通りの授業が取れましたか？

ほぼ全部変更しました。人気な授業は先生に交渉しても取れませんでした。現地で、他の生徒から情報を聞きまくってベストな時間割を取ってください。授業、楽しいですよ!!!

VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください。

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|-------|------|------|------|--------|------|-------------|-------------|
| 7:00 | | | | | | | |
| 8:00 | | | | 起床 | | | |
| 9:00 | 起床 | 起床 | 起床 | ボランティア | 起床 | | |
| 10:00 | 授業 | | 授業 | | 授業 | 起床 | 起床 |
| 11:00 | 授業 | | 授業 | | 授業 | | |
| 12:00 | ランチ | ランチ | ランチ | ランチ | ランチ | ランチ | ランチ |
| 13:00 | 授業 | 授業 | 授業 | 授業 | 授業 | | |
| 14:00 | | | | | | | |
| 15:00 | | | | | | | |
| 16:00 | | | | | | | |
| 17:00 | | | | | | | |
| 18:00 | ディナー | ディナー | ディナー | ディナー | ディナー | ディナー | ディナー |
| 19:00 | | | | | | | |
| 20:00 | | | | | | みんなでnetflix | みんなでnetflix |
| 21:00 | | | | | | | |
| 22:00 | | | | | | | |
| 23:00 | | | | | | | |
| 24:00 | 睡眠 | 睡眠 | 睡眠 | 睡眠 | 睡眠 | 睡眠 | 睡眠 |

Ⅶ. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般についてなど、自由に書いてください。

南ユタ大学はユタ州シーダーシティに位置しているド田舎で街を歩けば田舎ならではの温かみを感じます。映画で見ただけで広い土地の中にある大学です。ユタ州はモルモン教の発祥の地なので現地学生のほとんどがモルモン教徒です。日本の視点から見ると飲酒、カフェインの禁止など厳しい規則から偏見の目で見られがちですが、実際に会って真意を聞いてみると人に優しく、平和に生きることをモットーにしている人たちなのでユタの治安が守られているのだと感じました。

International student はオンキャンパスの入寮が勧められています。私が住む寮は2人1部屋、トイレ、シャワーは共用。共用部分にあるソファやキッチンはみんなの憩いの場で、暇な時に行けば誰かしらがいて、すぐ友達を作ることができます。週末はみんなで共用スペースにて映画を見たり、各国の料理を作りあったりしています。秋休みには、共用ルームでいつも過ごす友達とシアトル、ポートランドへ旅行に出かけました。

授業についてですが、心配することはありません。事前に先生に international student であること、留学の目的を伝え、真摯な態度を見せることで先生が気にかけてくれるようになりました。わからないことや、聞き取れなかったことは、友達や先生に聞いたり、積極的にオフィスアワーへ赴くことで不安なことはなくなります。授業内では、現地人の生徒の発言が活発で明治大学との違いに驚くかもしれませんが、そのディスカッションに勇気をもって自分も参加することで自信がくようになります。山のようなリーディングやペーパーにやられそうになるときもありますが、何が起ころうと山のような宿題に殺されることはありません。何事も挑戦と思って捨て身で臨むことが自分の成長につながるのだと思います。

留学先大学を目指す学生に向けてのアドバイスをお願いします。

私が留学を臨むきっかけになったのは大きく分けて2つの理由があります。1つ目は、ネパールの小学校でのボランティアから問題意識をもったジェンダー学を学ぶこと。2つ目は、打倒帰国子女で、学んできた英語を極めることです。アメリカに来て3ヶ月が経ちますが、目的は達成しつつあります。ジェンダー学の先生が偶然にもネパール人で、授業を通じてネパール内で起こるジェンダー問題について教えてもらっています。また、個人的な活動として、アメリカの現地の教育現場とクラスに潜むジェンダー問題を研究したいという思いから直接校長先生にお願いをし、小学校でアシスタントボランティアとして小学校に通っています。2つ目の目的についてですが、前述した通りオリエンテーションやオンキャンパスでのイベントが頻繁に開催されるため、留学生同士で仲良くなりやすく、彼らと時間を過ごすことで英語にどんどん慣れてきているように感じます。ちなみに、交換留学できている日本人は私のみのため英語漬けの日々を送っています。日本人特有の同調圧力によって英語が使いにくい環境は全くありません。

特に Cedar City は電車もバスも Uber もない、最寄りのスーパーまで歩いて20分ほどの、超ド田舎で学生が街で何もする事がない分、この環境が学生を一致団結させるのだと思います。休暇に色々旅行しましたが、アメリカでの City Life は東京とそう変わりません(志望大学の特色は様々ですが)。この不自由なアメリカでの生活は今この時期にしか体験できません。山のような課題、山のような留学生に囲まれて、自分の夢を叶える為に毎日努力できることが幸せに感じます。交換留学を叶える為の障壁は色々あると思いますが、そこでめげてしまつては勿体無いです。私は留学前、留学志望理由、語学要件、就活との兼ね合い、家族の理解、金銭面等、諦めそうになることなんて数え切れませんでした。しかし、わからない事は国際事務室に通いつめ、様々な留学経験者と話す事で、ビジョンが明確になりました。一つずつ障壁を乗り越え協定校を勝ち取った今、こうして夢のために自分なりの留学できていて、充実した日々を送っています。何事も諦めず、夢を叶える為の努力を惜しまずに挑戦してみてください。応援しています！

